

米国 豪雪による買いだめの動きが押し上げ（10年2月小売売上高）

発表日：2010年3月12日（金）

～コア小売売上は緩やかな回復基調を維持～

第一生命経済研究所 経済調査部

主任エコノミスト 桂畑 誠治

03-5221-5001

2月の小売・飲食サービス売上高は、前月比+0.3%（前月同+0.1%）と市場予想の同▲0.2%に反し増加

2月の小売・飲食サービス売上高は、前月比+0.3%（前月同+0.1%）と市場予想の同▲0.2%に反し増加した。ただし、12、1月合計で▲0.5%下方修正されており、実態は予想通りの結果といえよう。一方、変動の大きい自動車を除く小売・飲食サービス売上高は、前月比+0.8%（前月同+0.5%）と市場予想の同+0.1%を大幅に上回った。小売売上高の基調を示すコア小売売上高（自動車・ガソリン・建材を除く小売・飲食サービス売上高）が前月比+0.9%（前月同+0.6%）と拡大ペースを加速した。食品・飲料、家電が加速し、家具、建設資材、スポーツ用品・本・趣味用品、その他小売、飲食店が増加に転じたことを背景に、小売売上全体が押し上げられた。

2月の小売売上高は、豪雪による食料品などの買いだめの動きや外食の増加によって、押し上げられた。基調としては、信用コストの高まりが続く中、減税や失業保険の給付期間の延長などによる所得の押し上げ、マインドの下げ止まり等によって、小売売上高は緩やかな回復ペースとなっている。

食品・飲料、家電が加速し、家具、建設資材、スポーツ用品・本・趣味用品、その他小売、飲食店が増加に転じた

業態別の売り上げでは、自動車・同部品、薬局が減少幅を拡大、ガソリン価格の下落によってガソリンスタンド、冬物在庫の減少を背景に衣料品や百貨店等一般小売が拡大ペースを鈍化した。さらに、通信販売が横ばいにとどまった。

一方、食品・飲料、家電が加速し、家具、建設資材、スポーツ用品・本・趣味用品、その他小売、飲食店が増加に転じた。

発表直後、株高、10年債利回りが上昇

予想を上回った同統計の発表直後の市場反応をみると、株先物、10年債利回りは上昇した。為替市場では、ドルは対円で強含み、対ユーロでは反応薄だった。

コア小売売上高は3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率+4.6%と小幅鈍化

3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率で小売売上高のモメンタムをみると、変動の大きい自動車を除く小売・飲食サービス売上高は+7.3%（前月+9.4%）と鈍化した。このナンバーはガソリン価格変動の影響を受けるため、小売売上高の基調を示すコア小売売上高（自動車・ガソリン・建材を除く小売・飲食サービス売上高）をみると、+4.6%（前月+5.4%）と小幅鈍化にとどまっており、小売売上高の拡大ペースは勢いを保っている。

1、2月平均の小売売上高は10～12月期から鈍化

1、2月のコア小売売上高（平均）は、10～12月期比年率+4.9%と10～12月期の前期比年率+5.7%から鈍化している。一方、1、2月の自動車販売台数は10～12月期比年率▲9.3%と減少幅を縮小しており、1～3月期の実質個人消費は前期比年率+2%台半ば（10～12月期同+1.7%）と小幅加速する公算が大きい。

2010年の消費動向に関しては、失業保険の給付期間延長、値下げ販売、資産価格の下げ止まりなどが消費を押し上げるものの、所得の伸び悩み、消費者ローン等での銀行の融資姿勢厳格化による信用逼迫・借り入れコストの上昇が消費の拡大ペースを抑制すると予想される。

小売・飲食サービス売上高 (Retail and Food Services Sales)

	小売・飲食サービス売上高		耐久財関連 (*1)				非耐久財関連 (*2)			
		除く車	自動車	家具	家電	衣料品	ガソリン			
09/07	▲0.1	(▲8.5)	▲0.5	+0.5	+1.7	+0.2	▲1.1	▲0.4	+0.9	▲1.7
09/08	+2.4	(▲5.5)	+0.8	+5.6	+10.2	▲1.1	+0.9	+1.4	+1.5	+5.0
09/09	▲2.0	(▲6.1)	+0.7	▲8.5	▲14.1	+0.8	+2.1	+0.8	+0.9	+1.3
09/10	+1.2	(▲2.0)	▲0.0	+3.8	+7.4	▲0.9	▲0.7	+0.2	▲0.2	▲1.2
09/11	+2.0	(+2.7)	+2.0	+2.0	+1.8	+0.7	+2.9	+2.2	▲0.8	+9.8
09/12	▲0.2	(+5.5)	▲0.1	▲0.3	▲0.5	+1.9	▲2.6	▲0.1	▲0.7	+0.7
10/01	+0.1	(+4.1)	+0.5	▲1.0	▲1.5	▲1.0	+2.2	+0.7	+1.5	+0.5
10/02	+0.3	(+3.9)	+0.8	▲0.7	▲2.0	+0.7	+3.7	+0.7	+0.6	+0.3

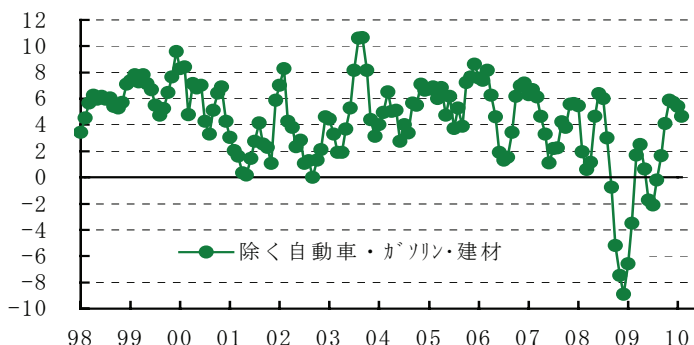
(出所) 商務省 (Department of Commerce)

(注) 数字は季調済前月比。但し、() 内は前年同月比 (未季調)。

*1:耐久財関連は、自動車・家具・家電・建材関連の売上の合計。

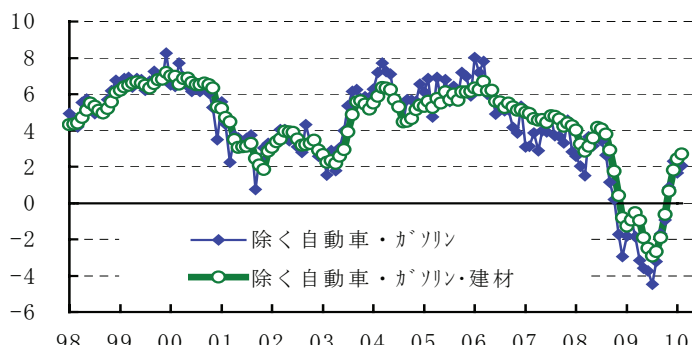
*2:非耐久財関連は、小売売上高の合計から、耐久財関連を除いたもの。

(%) (図表) 米国：小売・飲食サービス売上高 (3ヵ月移動平均、3ヵ月前対比年率)



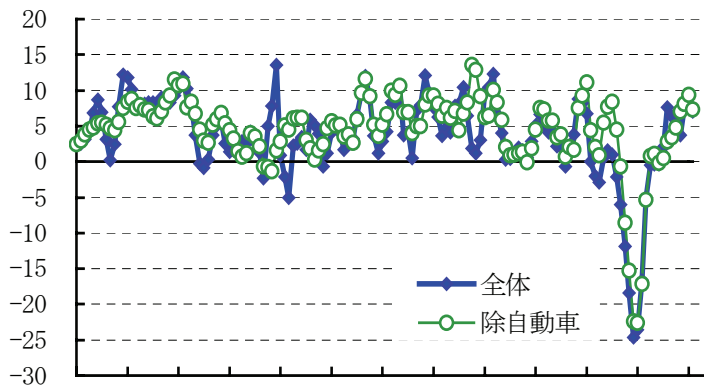
(出所) 米商務省

(%) 小売・飲食サービス売上高 (3ヵ月移動平均、前年同月比)



(出所) 米商務省

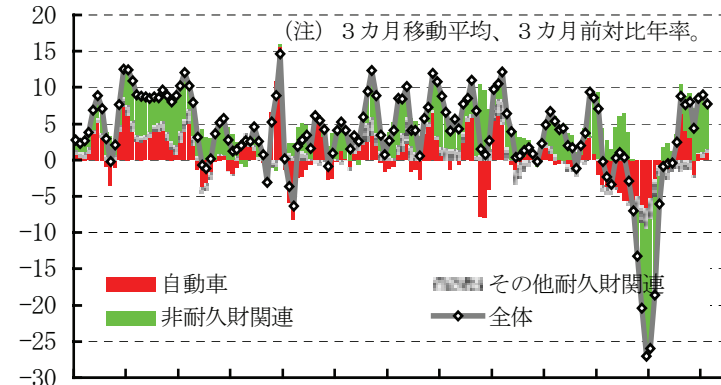
(%) 小売・飲食サービス売上高の推移



(出所) 米商務省

(注) 3ヵ月移動平均、3ヵ月前対比年率。

(%) 小売売上高の財別寄与度の推移



(出所) 米商務省

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。